産業建設常任委員会

9月10日に招集された産業建設常任委員会では、水稲の生育状況について、農業委員会長谷川博会長随行のもと、富里の水田2ヶ所（保坂孝志さん、小林幹一さん）、米岡1ヶ所（上田正登さん）の現場視察を行いました。

水稲は収穫前とあっていずれも黄金色に輝いており生育の順調さを窺わせました。ただ、種類によっては、若干青さが残るものもありました。

行政視察後、議会事務局において意見交換会を行いました。また、町側から9月定例町議会に向けて議案等の補足説明がありました。

視察来町者状況

「南西沖地震災害の復興状況」や「当町企業の運営状況」等の視察に各方面から今年に入って9団体71人の来町がありました。

3月
岩手県宮古市議会　2人

5月
三重県津市議会　3人
高知県香南市議会　8人

6月
福島県議会(自民党)　13人

7月
福島県喜多方市議会　7人
高知県四万十市議会　9人

8月
香川県高松市議会　5人

9月
神奈川県議会　13人

10月
神奈川県藤沢市議会　11人

自民党福島県議会議員会　地震災害説明会状況
（6月10日　役場2階会議室にて）

議会広報委員研修会

○8月18日、北海道町村議会議長会主催の議会広報研修会が札幌市、北海道第2水産ビルで開催され、全道から94町村、400人の委員と関係者が参集しました。当町からは広報編集委員3人と事務局1名が出席しました。

○広報プランナー和田雅之氏が講師となり、『ビジュアル化が進む中での議会報づくり』と題し、議会報づくりの基本から応用編まで詳細にわたり講義がされました。その中で、理想的な議会報とは、自宅に居ながらにして議会を見ているような紙面づくりであることだと言われ、そのためには文章の基本を忘れず、かつ最新の傾向も取り入れることが有効であるとの説明がされました。最後に質疑応答の場面では、活発に質問が出され、真摯に議会報づくりに邁進しようとする各議員の熱意が伝わってきました。

青苗中学3年生十人 商工女性部十五人 第3回定例会傍聴

9月15日開会の第3回定例町議会に、青苗中学校から3年生9名、引率の教員1名の合計10名の傍聴者がありました。青苗中学3年生は、社会科公民分野の授業の一環として、議会開会

時間の午前10時から午前11時までの1時間、議会を傍聴していきました。

青苗中学校３年生９人と教員１名

そのときの感想文を生徒から寄せられましたので代表して男女一人ずつ計二人の感想文を掲載します。本当は全員の文章を載せたかったのですが、紙面の都合上、男女1名ずつしか掲載できませんでしたのでご了承下さい。

☆議会見学を終えて

3年　S君

僕は初めて見る議会の空気にビックリしました。一時間ほどしか見学できませんでしたが、一般質問を見ることができたのでとてもうれしかったです。特に制野議員さんの質問です。とても内容が濃くて、最後の質問は難しくてわからない所がありましたが、とても白熱していてすごいなと思いました。

僕が、印象に残るのは、フェリーの運航のことです。理由は、島民は、誰でも使うと思います。なので、どんどん活性化していってほしいと思ったからです。僕の考えは、フェリー運航は、一隻のみでいいと思います。なぜなら二隻もの運航にするとトータルで1億ほどの赤字に年々なっているからです。そして、江差運航を無くし、瀬棚運航のみがよいと思います。これなら赤字は減ると思います。特にガソリンがとても金がかかるので、一隻で良いと思います。

僕は、公務員になりたいので、これからたくさん勉強し役場の職員または議員にできればなれるようにがんばります。

☆議会見学をして思ったこと

3年　Mさん

今回議会見学をして、身近で起きている奥尻のさまざまな問題などを知りました。今までは全然奥尻島の問題を知らなく、何も変わらない生活をしていました。でもこの機会で産業の状況、観光についてなど本当に身近な課題を知りました。

私はその中でも防災訓練について考えました。私は学校で防災訓練をしていて町民がその時、どのように動いているか知りませんでした。でも青坂議員が言っていた、家の前で草をとっている人がいたという言葉を聞いた時、いざとなった時その人は大丈夫なのか不安に思いました。なので、私はもっと呼びかけたり、関心を持ってもらうために、その日に分かりやすい防災のパンフレットなどを配布したらいいと思いました。そうすれば家から出られない人でも防災の知識を学べると思います。

私は今回の見学で奥尻島の問題について、色々なことを考えさせられました。なのでこれからも、奥尻島の問題について知り、自分ができることはどんどんしていきたいです。

【商工会女性部15人傍聴】

９月15日開会の第３回町議会定例会には、奥尻商工会女性部の方々も傍聴に訪れ、議員と町長との一般質問のやり取りや、補正予算に対する関連質問の状況などをつぶさに見学をしていきました。

実際の議場において臨場感ある議論の様子を聴いて、気持ちを新たにしているようでした。

商工会女性部１５人